

令和6年度事業報告

(令和6年度事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

はじめに

八ヶ岳南麓地域である北杜市小淵沢町は、歴史的には軍馬の養成、近年は多くの乗馬倶楽部が存在し「馬のまち小淵沢」として、馬と八ヶ岳の自然を中心に観光業等が栄えてきた。

その中でも山梨県馬術競技場は、自然のクロスカンントリーコースを持つ日本有数の馬術競技場であり、更には、近年の観覧席や本部棟、新厩舎等を整備し、当競技場の機能向上を図ったため多くの馬術競技大会やイベント等に御利用いただき、県内外から多数の来場者が訪れることで、八ヶ岳南麓の地域振興の拠点施設としての期待が益々高まっている。

令和6年度は、当協会主催の山梨グランプリを皮切りに多くの馬術大会、合宿等を開催することができた。特に、パリオリンピック総合馬術で日本が92年ぶりにメダルを獲得したことで、日本馬術連盟主催の全日本ヤング総合、ジュニア総合馬術大会は一層の盛り上がり、地域の観光業等の振興にも大きく貢献したところである。

また、当競技場を会場に「ほくと馬のまち祭り2024」が開催され、地域住民や多くの来訪者との交流が図られた。

当競技場の環境美化に際しては、北杜市観光協会や商工会、乗馬に関する多くの皆様方で構成するサポートクラブに草刈りを実施していただく事により、来場者を気持ち良くお迎えすることができた。

施設の充実としては、シミックグループによる企業版ふるさと納税を財源とした県の補助金を活用し、東京2020オリンピックと同様のオランダ産白砂の敷設工事を実施し、クッション性の向上等による競技環境の機能を強化したことにより、一層の馬術競技力向上に期待が高まる。

今後は、2026年度青森県主催の国民スポーツ大会馬術競技の開催準備を行うとともに、県が定めた小淵沢エリア振興ビジョンの中核的な施設として、地域振興に向けた取組を積極的に行っていく。

I 総務関係

1 諸会議

- (1) 第1回理事会（書面会議） 令和6年 4月 1日
第1号議案 理事長及び専務理事の選任について
第2号議案 事務局長の選任について

- (2) 監査会 令和6年 4月23日
令和4年度事業報告並びに決算報告について

- (3) 第2回理事会 令和6年 5月15日
第1号議案 令和5年度事業報告並びに決算報告について
第2号議案 理事及び監事の変更について
第3号議案 評議員会の開催について
第4号議案 定款の一部変更について

- (4) 第1回評議員会 令和6年 5月30日
第1号議案 令和5年度事業報告並びに決算報告について
第2号議案 理事及び監事の変更について
第3号議案 評議員の選任について
第4号議案 定款の一部変更について

- (5) 第3回理事会（書面会議） 令和6年 5月31日
第1号議案 理事長及び専務理事の選任について
第2号議案 事務局長の選任について

- (6) 第4回理事会（書面会議） 令和6年 7月17日
第1号議案 評議員会の開催について

- (7) 第2回評議員会 令和6年 7月31日
第1号議案 定款変更の件について

- (8) 第5回理事会（書面会議） 令和6年11月27日
第1号議案 評議員会の開催について

- (9) 第3回評議員会 令和6年11月28日
第1号議案 役員選任に関する件について

- (10) 第6回理事会 令和7年 3月26日
第1号議案 令和6年度補正予算について
第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算について
第3号議案 役員の選任について
第4号議案 役員報酬について
第5号議案 評議員会の開催について
- (11) 第4回評議員会 令和7年 3月26日
第1号議案 令和6年度補正予算について
第2号議案 令和7年度事業計画及び収支予算について
第3号議案 役員の選任について
第4号議案 役員報酬について
- (12) 競技用馬評価選定委員会（当センター事務局）
第1回委員会 令和6年12月25日
開催場所 甲府市 山梨県庁北別館
スポーツ振興課会議室
第2回委員会 令和7年 3月19日
開催場所 甲府市 山梨県庁北別館
スポーツ振興課会議室
- (13) その他の会議等
①ほくと馬のまち祭り2024
～信玄棒道ウォークとホースショー in こぶちさわ～
第1回合同実行委員会 令和6年 6月11日
第2回合同実行委員会 令和6年 9月11日
第3回合同実行委員会 令和7年 2月21日
- ②山梨県馬術競技場サポートクラブ
令和6年7月11日に、夏本番を迎える競技大会に向けた草刈り
に加え、10月1日にほくと馬のまち祭りに向けた草刈りを実施

2 馬術競技場馬場整備事業の実施（県補助金）

東京2020オリンピックで使用したオランダの白砂（デグロンスラ
グミックス（欧州珪砂裁断織布繊維混合））をフレコンバックで800個
購入し、障害飛越競技馬場に敷設した

工 期 令和6年12月14日から令和7年3月31日

事業費 100,311,002円

県補助金 100,000,000円

3 馬術大会・合宿等誘致のため大会主催者へのPR活動

（1）公益社団法人日本馬術連盟（日馬連）訪問

令和6年5月に日馬連理事長が来県された際、当センター理事長（山
梨県農政部長）、理事（山梨県畜産課長）、専務理事がご挨拶を行い、白
砂の工事に着手する件など、意見交換を行い大会の誘致を依頼した。

（2）8月の全日本ジュニア障害馬術大会等日馬連主催大会時に来場した日
馬連幹部から、来年度の総合馬術 CCI2☆を三木ホースランドパークか
ら本県で開催することで検討を行う旨、報告を受けた。

Ⅱ.業 務 関 係

1 馬事技術普及奨励事業

(1) 選手強化

山梨県観光文化・スポーツ部指定の国体強化選手並びに山梨県馬術連盟指定強化選手に対する施設開放及び指導を行った。

- ① 強化指定馬（5頭）への飼育管理費及び調教費の支払い
- ② 山梨県馬術連盟への馬運車の貸出

(2) 主催大会（山梨グランプリ）の開催

令和6年4月5日（金）～4月7日（日）延べ90頭参加

(3) 各種大会の開催

全日本ヤング総合馬術、ジュニア総合馬術大会等の17大会が開催された。

(4) 合宿団体

日本馬術連盟総合馬術の合宿をはじめ、各大学、乗馬クラブ及び各県馬術連盟等の強化練習及び指導者養成のための合宿が46団体、3回の講習会を受け入れた。

2 優良乗用馬育成供給事業

- (1) 馬の放牧を実施し草地の有効利用を図った。

3 受託事業

- (1) 県有馬1頭の飼育調教管理を受託したものの、2月にへい死した。県の国スポの強化方針では、今後、県有馬は所有せず、民間の強化指定馬で実施することとなる。

4 イベント開催の支援

(1) ほくと馬のまち祭り2024

～信玄棒道ウォークとホースショーinこぶちさわ～

令和5年10月13日開催